

モニタリングレポート(令和6年度)			
施設名	鈴鹿市鼓ヶ浦駐車場		
施設所在地	鈴鹿市寺家三丁目2450番地の53ほか		
指定管理者	鼓ヶ浦観光協会		
施設担当課	商業観光政策課	問合せ先	059-382-9020
モニタリングの実施方針・方法等	業務日誌、月次報告書、年度事業報告書、決算報告書、定期的な現地調査、指定管理者へのヒアリング等を行うことで確認した。		

1 運営状況

1-1 施設の運営状況

項目	計画値	実績値	計画比
開設日数	49日	47日	▲2日
利用台数	1,734台	597台	▲1,137台
平均利用台数(/日)	13台	施設稼働率	96%

1-2 目標の達成状況の推移

・駐車場開場日数(日): 開設日と休止期間を活用した海浜促進取組を合わせた日数						
	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	合計
目標値	70	70				
実績値	61	68				
差	▲9	▲2				

【運営状況に関するコメント】

海浜利用の目的が、従来の海水浴場を中心としたものから変化している中で、利用者ニーズに応える形で、初夏から秋にかけての週末に駐車場を開設し、海浜利用者の利便性向上につながる形での運営がなされている。 なお、計画値に対して実績値は減少しているが、計画値の算定基礎となる令和5年度の実績値は、コロナ禍による無料開放時の数値であり、有料開放を行った今年度と単純に比較できるものではなく、今後の動向を注視する。
--

2 事業収支

2-1 指定管理料に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
指定管理料	500,000	541,734	41,734
利用料金	0	0	0
事業収入(自主事業を除く)	0	0	0
その他収入	0	0	0
収入計	500,000	541,734	41,734
人件費	500,000	500,000	0
管理費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
修繕費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
受信料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	0	0	0
委託料	0	0	0
賃借料	0	0	0
本部管理費	0	0	0
その他	0	0	0
事業費	0	0	0
租税公課	0	0	0
支出計	500,000	500,000	0
収支	0	41,734	41,734

2-2 自主事業収入に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
自主事業収入	0	0	0
収入計	0	0	0
自主事業経費	0	0	0
支出計	0	0	0
収支	0	0	0

2-3 使用料実績

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
実績額	0	298,100	298,100

【事業収支に関するコメント】

特に問題なし。

3 業務内容

3-1 協定書、仕様書、事業計画書に定める業務の履行状況

評価項目		評価	所見
公の施設の管理者としての理解、姿勢：良・可・否の3段階で評価			
公民連携に対する理解と姿勢	可	適正な管理を行っている。	
施設に対する理解	良		
コンプライアンス、環境配慮に対する意識、理解	可		
業務の履行確認：可・否の2段階で評価			
施設運営の状況			
管理運営の実施体制	良	昨年度とは異なる施設運営となったが柔軟に対応し管理された。	
施設運営の実績	良		
施設の使用に関する業務の状況	良		
苦情・トラブルへの対応	良		
施設の維持管理状況			
保守・点検・各種設備等の管理業務	良	施設の定期的な点検・保守が適切に行われており、施設の良好な環境が維持された。	
清掃、植栽等及び廃棄物処理の状況	良		
備品の管理状況	良		
修繕の状況	良		
事業の実施状況			
指定業務内の事業の実施状況	可	問題なく実施された。	
企画提案事業の実施状況	可		
自主事業の実施状況	可		
サービスの質的評価：良・可・否の3段階で評価			
サービスレベルの評価			
施設サービス全般（接遇、情報提供、周知）	可	特に問題なし。	
維持管理業務	可		
運営業務	良		
事業内容の評価			
指定業務内の事業	良	特に問題なし。	
企画提案事業	可		
自主事業	可		
業務遂行能力の評価：良・可・否の3段階で評価			
指定管理業務に関する収支状況	可	特に問題なし。	
指定管理者本体の財務状況	可		
その他の事項に対する評価：良・可・否の3段階で評価			
緊急時の対応評価	良	緊急通報等も訓練により熟知しており、対応がなされている。	

【業務内容に対するコメント】

業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、いずれの点においても問題のない内容である。

4 総合コメント

【公の施設の管理者としての理解、姿勢】

特に問題なし。

【設置目的達成に資する取組としての的確性、独創性】

駐車場の清掃・整備等を積極的に行い、利用しやすい環境を維持している。

【適切な業務遂行のための体制、規律の整備と実行性】

業務遂行にあたり各自役割を決め主体的に業務を行っている。

【経済性】

適切な人員配置により効率的な運営が行われている。

【業務遂行能力】

駐車場管理も適切に行われており遂行能力に問題ない。

【指定管理者に対する総合コメント】

海浜利用の在り方が変わり、海水浴を目的とした利用から変化求められる中で、海浜利用者の利便性向上に向けて、運営方法、開設期間を変更するなど、柔軟な対応がなされており、これからも適正に管理されるものと期待できる。

5 施設の課題と対策

これまでの海水浴を目的とした海浜利用から、アウトドアブームの高まりなど、社会環境の変化が生じている中で、鈴鹿サーフなどとして釣り客が集中したことにより、従来の駐車場開設時期とは異なる時期に路上駐車が発生するなどし、地域や警察などからは駐車場の開放を求める声が多く届いている。海浜利用者の利便性向上に向けて、運営方法、開設時期などの調整が引き続き求められる。

6 施設の方向性

海浜利用者の駐車場として周辺に代替駐車場はなく、欠かせない施設となっており、現状維持に努めていく必要がある。